

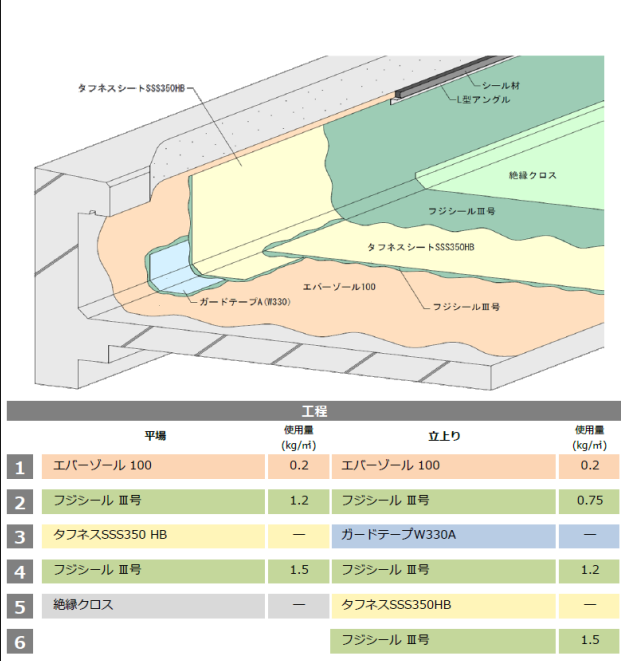


[審査証明番号/有効期限]	BCJ-審査証明-302/2027年11月16日
[技術の名称]	施工時環境配慮型改質アスファルト防水工法 「タフネス防水 AP 工法」
[依頼者(審査証明取得者)]	昭石化工株式会社

[技術概要]

本技術は、改質アスファルトルーフィングシートと改質アスファルト系張付材で構成される防水工法であるため、従来の熱工法による防水層と同程度の防水性能を保持しながら、作業工程数及び防水層質量の低減が可能となること、さらに低臭性の張付材を使用することにより、施工時の環境への影響を軽減することができる技術である。

保護防水仕様：F200BIII



[開発の趣旨]

タフネス防水 AP 工法は、改質アスファルトシート、改質アスファルトの張付材を使用することで、積層数を減らし、作業工程数、質量、施工時の煙による周辺環境の影響を減らし、従来のアスファルト防水熱工法と同程度の防水性能を保持することを目的として開発した工法である。

本工法による仕様は保護防水仕様 F200A [A-1・A-2]、F200BIII [A-1・A-2]、保護断熱防水仕様 F500SA [AI-1・AI-2]、F500SBIII [AI-1・AI-2]、露出防水仕様 S200A [C-1・C-2]、S200B [C-2]、S200BIII [C-2]、室内防水仕様 R200A [E-1・E-2] の8種類がある。

※：〔 〕内の記号は対応する従来の熱工法(公共建築工事標準仕様書又は公共建築改修工事標準仕様書)による防水層の仕様である。

種別	タフネス防水 AP 工法	公共建築工事標準仕様書又は公共建築改修工事標準仕様書
露出防水	S200A	C-1・C-2
	S200B	C-2
	S200BIII	C-2
保護防水	F200A	A-1・A-2
	F200BIII	A-1・A-2
保護断熱防水	F500SA	AI-1・AI-2
	F500SBIII	AI-1・AI-2
室内防水	R200A	E-1・E-2

[開発目標及び審査証明結果]

本技術について、前記の開発の趣旨及び開発の目標に照らして審査された結果は、以下のとおりである。

- (1) タフネス防水 AP 工法は、従来の熱工法によるアスファルト防水層と同程度の防水機能を有するものと判断される。
- (2) タフネス防水 AP 工法は、従来の熱工法によるアスファルト防水層と比較して防水層の質量を軽減し、施工工程数を削減するとともに、施工時の環境負荷を低減するものと判断される。

[本技術の問い合わせ先]

昭石化工株式会社
建材技術製造部 技術開発課
TEL：03-6212-6253